

環境調査結果のお知らせ

平成25年2月15日午前10時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協高知支所前岸壁)の環境調査をしましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1)

湾内の水温は12.53~14.64℃、塩分は25.63~31.71でした。前回調査時(H25.1.21)と比較して、水温は0~1m層が2~3℃上昇、2m以深が1℃低下していました。

溶存酸素濃度(表1)

溶存酸素濃度は7.97~9.97mg/lでした。前回と比べて、0~1m層は2mg/l低下、2m以深は1mg/l上昇していました。

プランクトン(表2・3)

透明度は2.7mでした。

検鏡の結果、魚類に対して有害なヘテロシグマ・アカシオが最高540cells/ml確認されました。

海面の様子や魚等の生物の異常を感じたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲む等して、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温・塩分・溶存酸素濃度

測定水深 (m)	今回調査			前回調査(H25.1.21)		
	水温 (℃)	塩分	溶存酸素 (mg/l)	水温 (℃)	塩分	溶存酸素 (mg/l)
0	12.53	25.63	9.97	9.38	25.67	11.50
1	13.98	29.88	9.72	12.20	27.71	11.69
2	14.50	31.37	8.36	15.47	33.39	7.05
B-1	14.64	31.71	7.97	15.51	33.31	7.14

表2 水深・透明度

	今回	前回
水深(m)	3.6	3.5
透明度(m)	2.7	1.5

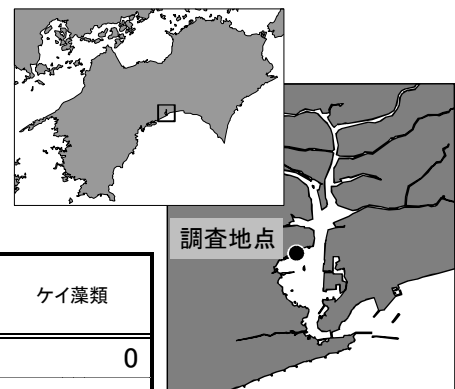


表3 プランクトン(cells/ml)

測定水深 (m)	ヘテロシグマ・ アカシオ※	ジャイロディニウム・ ドミナンス	ヘテロカプサ・ トリケトラ	アカシオ・ サンガイネア	ケイ藻類
0	62	23	26	1	0
1	540	18	9	0	56
2	230	10	8	0	45

※漁業被害が想定される細胞数: 10,000~50,000cells/ml(へい死)